

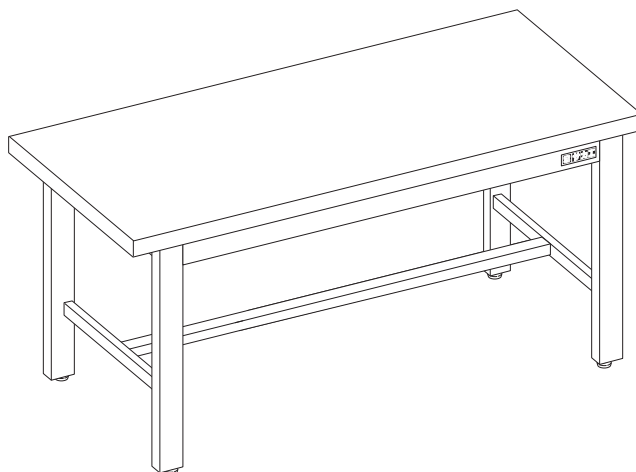
アルミ作業台

取扱説明書

この度はサカエ製品をお買い上げくださいますありがとうございます。

この説明書は、この製品の使い方(使用上の注意事項)について記載しています。ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

また、この製品を末長くご使用いただくために、この説明書は大切に保存してください。尚、弊社では安全な製品作りを常に心がけておりますが、ご不明な点がございましたら、下記のお客さま相談室までご連絡ください。



大阪市城東区成育5丁目22-9

お客様相談室 フリーダイヤル  0120-575101

この製品を安全に、また末長くご利用いただくために、次の事項を必ず守って下さい。

△安全上のご注意

1. 1台あたりの均等耐荷重

作業台本体 100kg

積載荷重は、製品の耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の恐れがあります。

- ※「均等の耐荷重」とは、天板の表面、または中板へ均一に荷重をかけた場合に、耐えられる重さの合計量をいいます。
2. 耐荷重以上の荷物を置かない。
作業台が傾いたり、天板が曲がったりして危険です。
 3. 足をかけたり、よじのぼったりしない。
転倒したり、天板が破損したり、足を滑らせて、けがをするおそれがあります。
 4. 不安定な場所に置かない。
作業台が倒れたり、荷物が落下して、けがをするおそれがあります。
 5. 傾斜地では使用しない。
作業台が転倒するおそれがあり、人や物に当たりけがや破損するおそれがあります。
 6. 取付けビスがゆるんだり、外れたままで使用しないで下さい。
変形や破損、転倒等の原因になり抜け落ちるおそれがあります。
 7. 製品を移動するときは、載せて有る物を全て降ろし、天板を複数人でゆっくり持ち上げて移動して下さい。
引きずって移動したり、乱雑に扱うと破損や事故の原因となります。
 8. 製品を濡れたままにしないで下さい。
表面材の損傷の原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭きとって下さい。
 9. 消耗品には寿命があります。
キャスター部や可動部等に異常音等（損耗現象）が発生した場合は購入店へご相談下さい。
 10. 子供の手の触れる場所に置かない。また、子供を近づけない。
作業台に触れて倒れたりして、けがをするおそれがあります。また、連結部・内部の切断面、および収納物によって、指をけがするおそれもあります。
 11. 天板のつぎ目やウラ側、隙間に指を入れない。
切断面や取付けビスの先端などで、けがをするおそれがあります。
 12. 改造や無理な修理、分解はしない。
取付ミスなどにより、作業台が不安定になり危険です。特別なご使用をされる場合は購入店へご相談下さい。

13. 製品の上に腰を掛けたり、乗ったりしないで下さい。
転倒や、転落事故の原因となります。
14. 消耗品の交換は購入先を通じて御注文下さい。

◆使用上のご注意

1. この製品は、室内または屋内用です。屋外や水のかかる場所では、故障やサビの原因となりますので使用しないで下さい。
2. 直射日光の当たるところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。
3. 製品の上にハンダゴテ等、高温になった機具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。変色や変形の原因となります。
4. 製品を水に濡れたままにしておきますとサビの原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
5. 消耗部品には寿命があります。キャスター部や可動部などに、異常音等（損耗現象）が発生した場合は、購入店へご相談下さい。
6. 特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
7. 製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

◆サカエ製品全般のお手入れのしかた

通常は乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。

汚れが著しい場合は、次の1～3の手順を守って汚れを落として下さい。

1. 薄めた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いて下さい。
2. 水につけた布をよく絞って、中性洗剤が残らないように拭いて下さい。
3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取って下さい。
※汚れが落ちない場合は、1～3の作業を繰り返して行して下さい。
※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。使用しますと表面材の損傷の原因となります。

部品明細

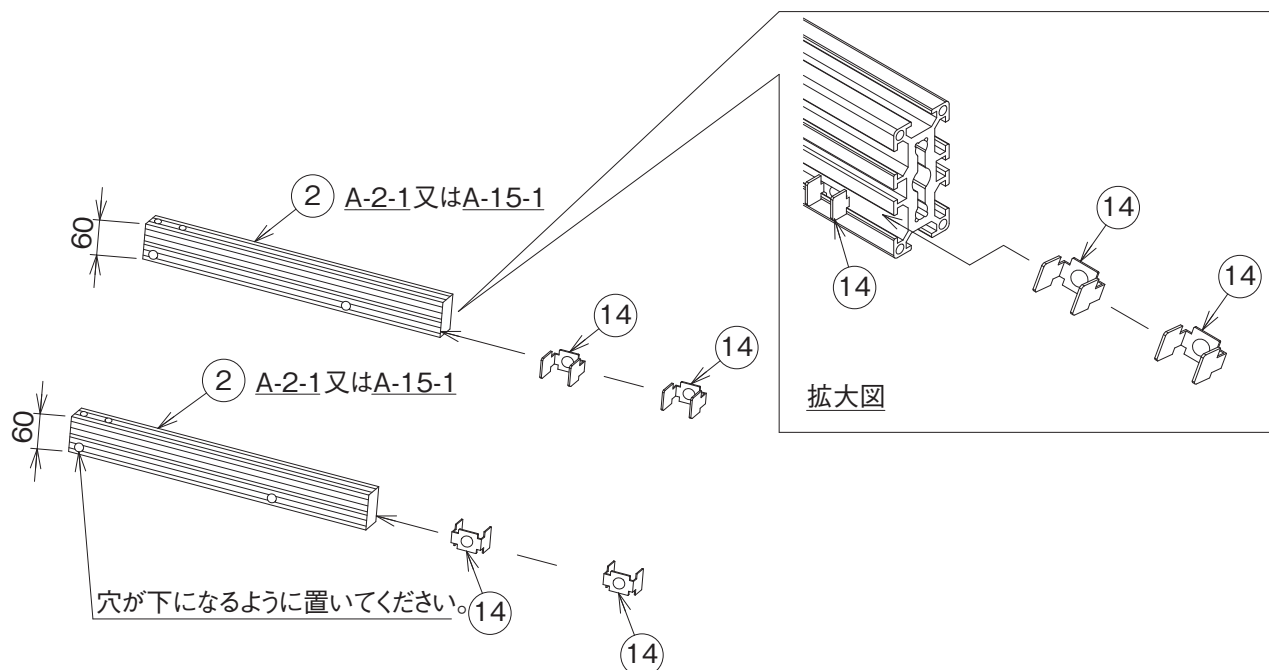
番号	品 名	KK-39NAL	KD-39NAL	KK-49NAL KHC-1275AL	KD-49NAL KHCH-1275AL	KK-59NAL KHC-1575AL	KD-59NAL KHCH-1575AL	KK-69NAL KHC-1875AL	KD-69NAL KHCH-1875AL
①	天板	1	1	1	1	1	1	1	1
②	支柱フレーム(A-2-1)	4	-	4	-	4	-	4	-
	支柱フレーム(A-15-1)	-	4	-	4	-	4	-	4
③	天受フレーム W900用(A-1-1) ※1	2	2	-	-	-	-	-	-
④	天受フレーム W1200用(A-3-1) ※1	-	-	2	2	-	-	-	-
⑤	天受フレーム W1500用(A-4-1) ※1	-	-	-	-	2	2	-	-
⑥	天受フレーム W1800用(A-5-1) ※1	-	-	-	-	-	-	2	2
⑦	上ラチスフレーム(B-1-1) ※1	2	2	2	2	2	2	2	2
⑧	下ラチスフレーム(B-1-2) ※1	2	2	2	2	2	2	2	2
⑨	カンヌキフレーム W900用(B-2-1) ※1	1	1	-	-	-	-	-	-
⑩	カンヌキフレーム W1200用(B-3-1) ※1	-	-	1	1	-	-	-	-
⑪	カンヌキフレーム W1500用(B-4-1) ※1	-	-	-	-	1	1	-	-
⑫	カンヌキフレーム W1800用(B-5-1) ※1	-	-	-	-	-	-	1	1
⑬	固定金具(60×30用) 	4	4	4	4	4	4	4	4
⑭	固定金具(30×30用) 	8	8	8	8	8	8	8	8
⑮	天板受金具 	4	4	4	4	6	6	6	6
⑯	止め金具 	4	4	4	4	6	6	6	6
⑰	六角穴付ボタンボルト M8×15L  ※2	6	6	6	6	6	6	6	6
⑱	六角穴付ボタンボルト M8×10L  ※2	6	6	6	6	6	6	6	6
⑲	低頭小頭六角穴付ボルト M8×16L 	16	16	16	16	16	16	16	16
⑳	低頭小頭六角穴付ボルト M8×30L 	2	2	2	2	2	2	2	2
㉑	平座金 M8用 ※2	12	12	12	12	12	12	12	12
㉒	アジャスター M12×P1.75	4	4	4	4	4	4	4	4
㉓	六角レンチ 呼び5	1	1	1	1	1	1	1	1
㉔	サカエシール	1	1	1	1	1	1	1	1

※1 アルミフレームに関して品名の横に記載している番号（例 A-○-○）と品物に貼り付けているシール番号と確認して組立ててください。

※2 W900, W1200 については2個余ります。

組立方法

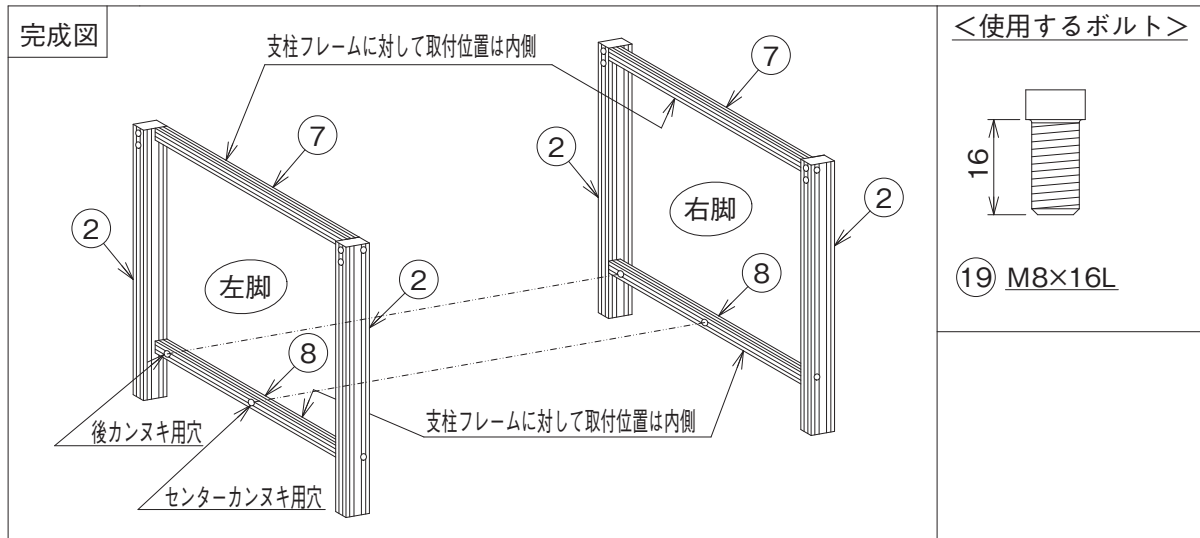
- 1 支柱フレームに固定金具を差し込んで下さい。
※固定金具を入れる位置に注意してください。



- a. ②支柱フレーム（A-2-1）又は（A-15-1）を上記図の様に寝かして置いてください。
b. 次に、⑭固定金具（30×30用）を2個、拡大図の様に差し込んで下さい。
左右対称になる様、もう一本②支柱フレーム（A-2-1）又は（A-15-1）に⑭固定金具（30×30用）を2個差し込んで下さい。
c. 同じ要領でもう1セット組立てて下さい。

2 脚フレームの組立

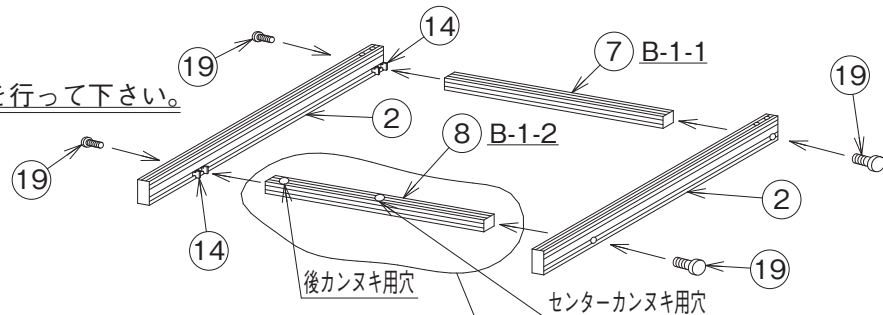
左右の脚フレームを組立てて下さい。※ただし、R/Lに注意して組立てて下さい。



脚フレームの組立手順

＜左脚＞

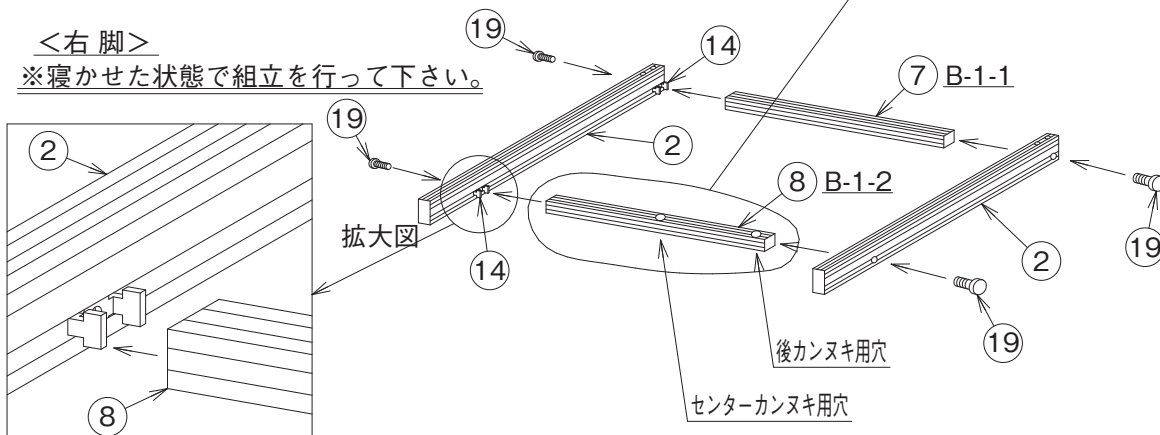
※寝かせた状態で組立を行って下さい。



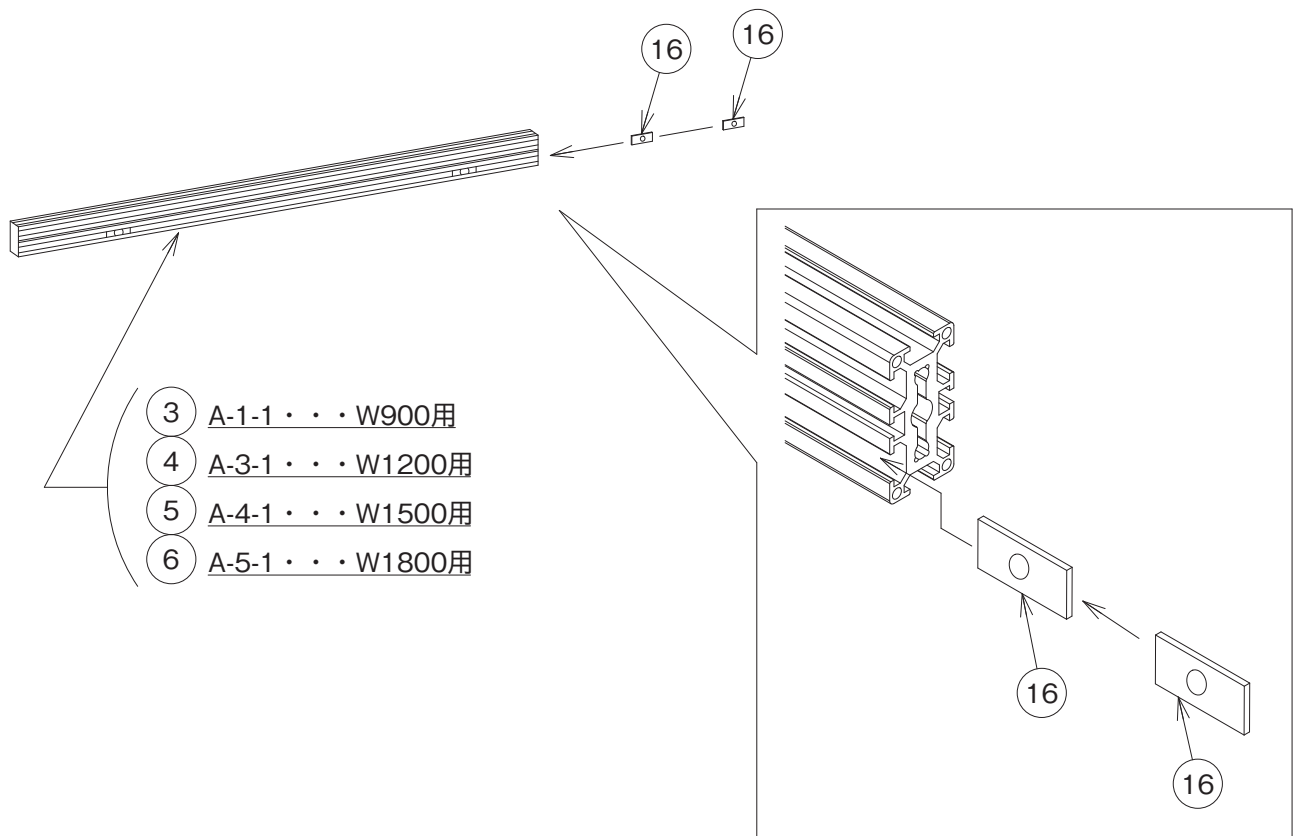
- ⑭固定金具(30×30用)を入れた②支柱フレーム(A-2-1)又は(A-15-1)に⑦上ラチスフレームと⑧下ラチスフレーム(穴が開いている方が天を向くようにセットしてください。)を横から差込んで下さい。
- 反対側も同じ要領で②支柱フレーム(A-2-1)又は(A-15-1)を差し込んで下さい。
- ⑲低頭小頭六角穴付ボルトで4ヶ所、締め付けてください。
- ＜左脚＞と同じ要領で＜右脚＞も組立てて下さい。

＜右脚＞

※寝かせた状態で組立を行って下さい。



3 天受フレームに止め金具を入れてください。



※絵はW900・W1200を表す。

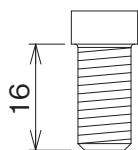
a. 天受フレームに、⑩止め金具を入れてください。

（作業台サイズにより⑩止め金具を入れる個数が以下の様に変わります。）

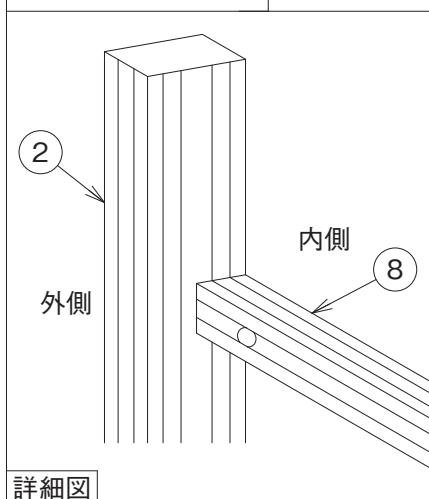
- ・W900、W1200・・・1本につき2個
- ・W1500、W1800・・・1本につき3個

4 本体を組立てて下さい。

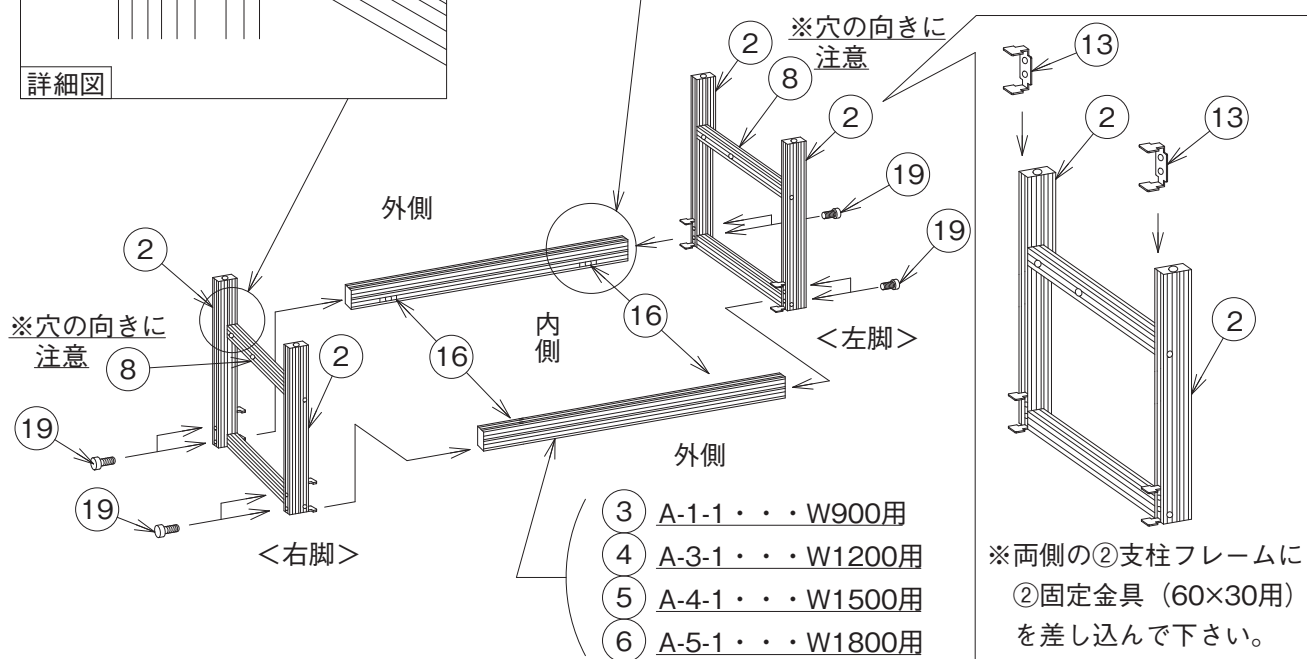
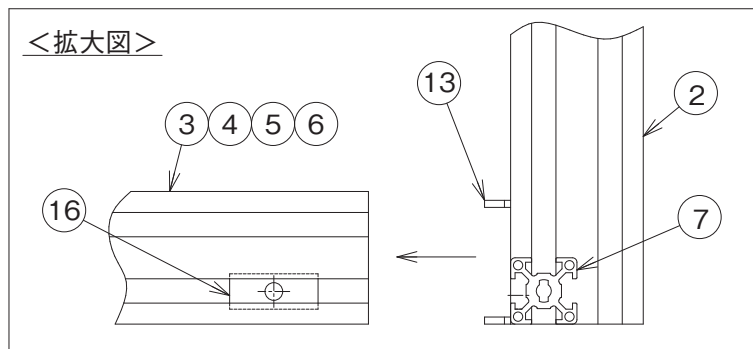
<使用するボルト>



(19) M8×16L

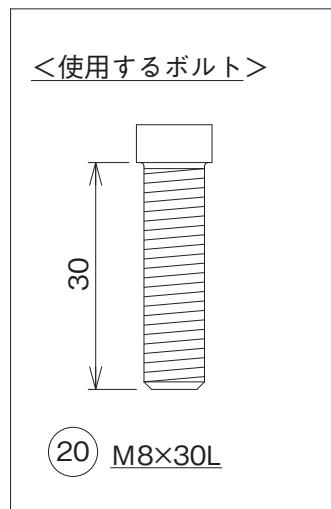


<拡大図>

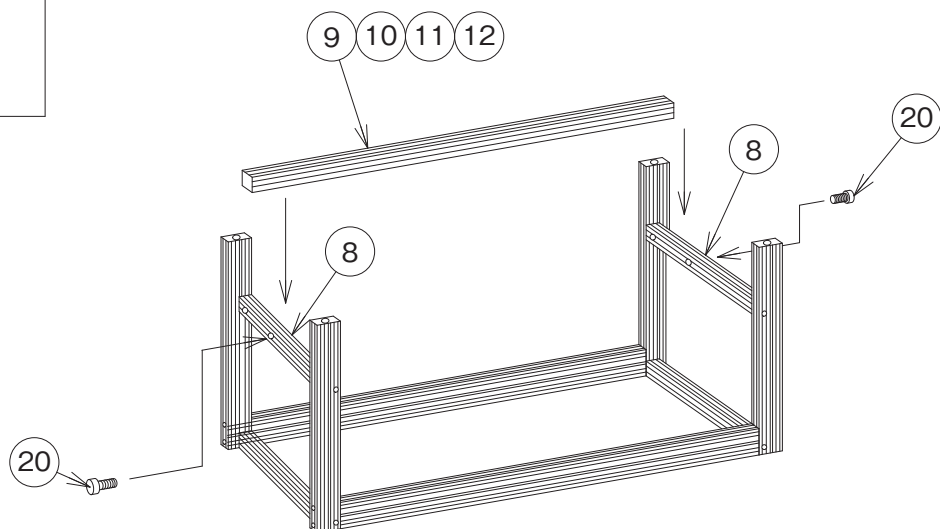


- ②で組立た脚フレームを絵の様に立てて下さい。
※脚フレームの内側同士を向かい合せにセットしてください。又、下ラチスフレームの穴位置が対照になるように注意して組立を行って下さい。
②支柱フレーム(A-2-1)又は(A-15-1)に⑬固定金具(60×30)を1個ずつ差し込んで下さい。(右図参照)
- 次に、②支柱フレーム(A-2-1)又は(A-15-1)に差し込んだ⑬固定金具(60×30用)に③④⑤⑥天受フレームを差し込んでください。
この時、③④⑤⑥天受フレームに差し込んだ⑯止め金具が本体の内側を向くようにセットし、⑯止め金具が天受フレームの下に来る様にセットしてください。
- 次に、②支柱フレーム(A-2-1)又は(A-15-1)と天受フレームを⑯低頭小頭六角穴付ボルトにて仮止めして下さい。

- 5 本体にカンヌキフレームを取り付けてください。
- ※カンヌキは、中央と後方のどちらにも取付可能です。
- 用途に合わせて組立てしてください。



- ⑨ B-2-1・・・W900用
- ⑩ B-3-1・・・W1200用
- ⑪ B-4-1・・・W1500用
- ⑫ B-5-1・・・W1800用

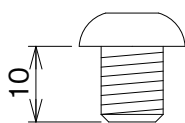


- a. ⑧下ラチスフレームと⑨～⑫カンヌキフレームを②①低頭小頭六角穴付ボルトで仮止めしてください。
- ※カンヌキフレームの取付は、⑧下ラチスフレームと共締めしてください。
- b. 最後に本体の本締めを行って下さい。

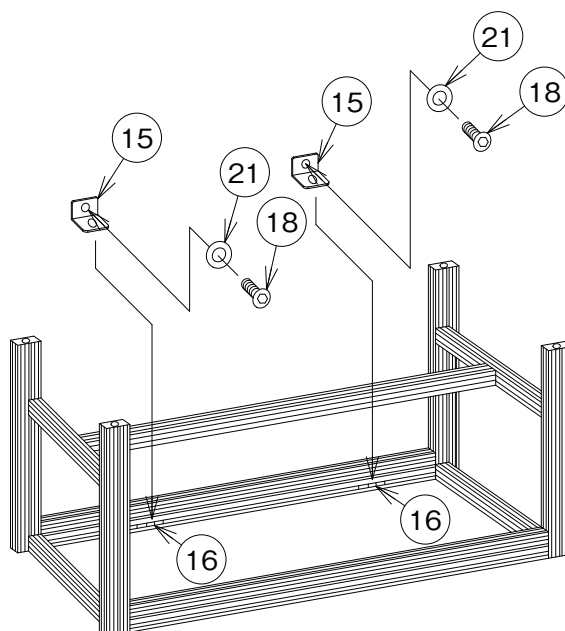
6 天板受金具を取り付けてください。

※天板受金具の長穴が天板側となりますので注意してください。

＜使用するボルト＞



⑱ M8×10L



※絵はW900・W1200用を表す。

W900とW1200は⑮天板受金具が4つ、

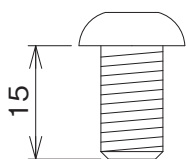
W1500とW1800は⑮天板受金具が6つ使用します。

- a. 天受フレームに差し込んだ⑯止め金具と⑮天板受金具を⑱六角穴付ボタンボルト、
⑳平座金で両側仮止めしてください。

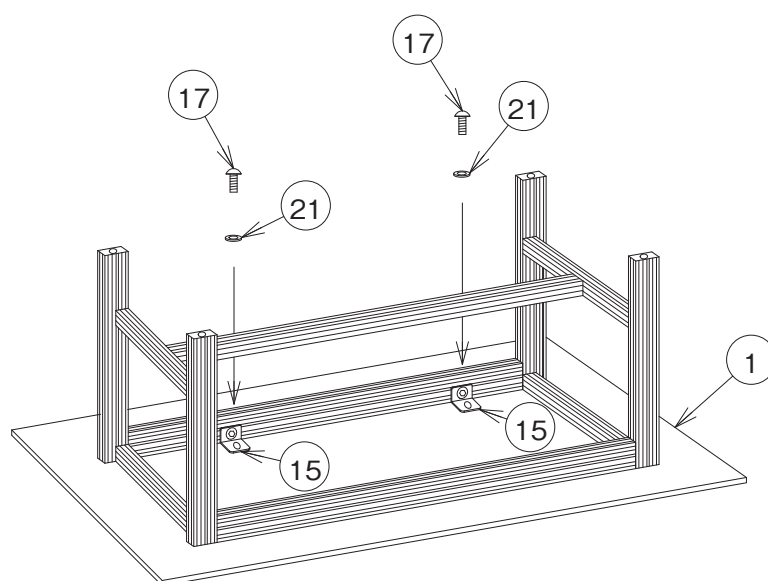
7 天板を取り付けてください。

※取付位置は左右振り分けした中央で取り付けてください。

＜使用するボルト＞



⑰ M8×15L



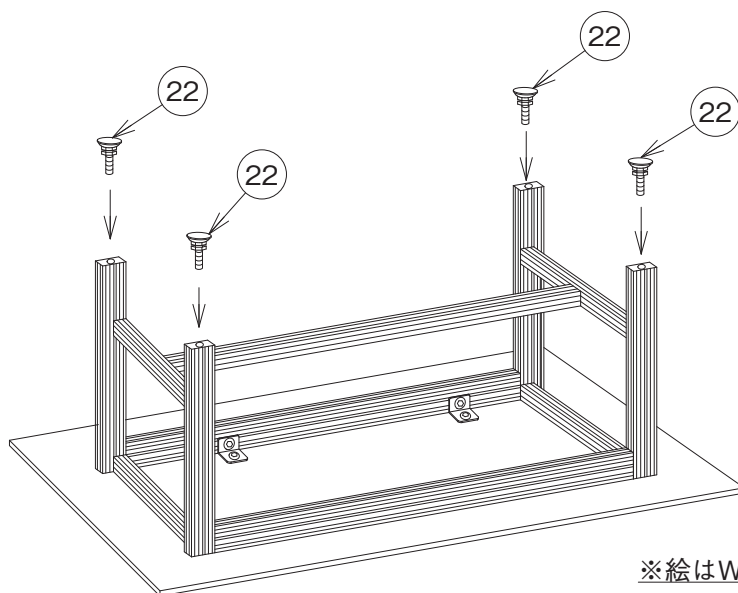
※絵はW900・W1200用を表す。

W900とW1200は⑮天板受金具が4つ、

W1500とW1800は⑮天板受金具が6つ使用します。

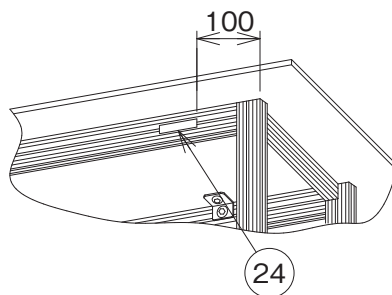
- a. ①天板の上に本体を乗せ①天板と⑮天板受金具の穴位置を調整し、⑰六角穴付ボタンボルトと⑳平座金で仮止めを行って下さい。
- b. 最後に天板側の⑰六角穴付ボタンボルトと天受フレーム側の⑱六角穴付ボタンボルトを本締めして下さい。

8 脚フレームにアジャスターを取り付けてください。



※絵はW900・W1200用を表す。

- a. 左右の脚フレームに②②アジャスターをねじ込んでください。



＜サカエシール貼付位置＞

- a. 作業台をひっくり返し正面右側の天受フレームに②④サカエシールを上図の位置に貼り付けてください。

S 力工